

平成 2 1 年度お盆期間における輸送実績について

平成 2 1 年 9 月 3 日

(社) 日本バス協会

平成 2 1 年のお盆期間【 8 月 6 日(木) ~ 8 月 1 8 日(火) 】における高速バス(大手 1 4 社)の輸送実績は以下のとおりです。

輸送人員は、前年に比べて減少。特に四国・九州の中距離運行が大きく減少。

GW期間より輸送人員の減少は拡大。

減少理由は、高速道路料金マイカー上限 1 , 0 0 0 円・景気の低迷・台風 9 号(8 月 1 0 日)・駿河湾を震源とする地震(8 月 1 1 日)等の影響が考えられるがどの程度が高速道路料金引下げによるものかは判断困難。

高速道路の渋滞により、多くの路線で定時運行が困難となった。

GW期間中よりも遅延による最大運行時間は若干緩和。

GWと同様、遅延に伴うバス事業者のコスト増加。

SA等休憩施設は、昼間、警備員による大型車駐車スペースの確保が行われたが、進入レーンの混雑により利用困難となった施設あり。

平成 2 1 年お盆期間等 (8 月 6 日(木) ~ 8 月 1 8 日(火)) における輸送動向

【速報値】

調査対象地域	輸送人員 (人)		前年比 (21/20)	通常運行時間	遅延による 最大運行時間
	2 1 年度	2 0 年度			
東北・関東 (6 事業者)	641,424	694,011	92.4%	334分 (5時間34分)	472分 (7時間52分)
北陸・中部・近畿 (4 事業者)	169,517	184,646	91.8%	436分 (7時間16分)	608分 (10時間08分)
四国・九州 (4 事業者)	353,300	435,014	81.2%	438分 (7時間18分)	631分 (10時間31分)
計・平均	1,164,241	1,313,671	88.6%	394分 (6時間34分)	557分 (9時間57分)

「通常運行時間」は各事業者毎の通常運行ダイヤによる平均。「遅延による最大運行時間」は各事業者毎の遅延による最大運行時間の平均。「計・平均」は当該運行時間の合計を事業者数で割って算出。

(社) 日本バス協会調べ

(参考) ゴールデンウィーク期間 (4 月 2 9 日(水) ~ 5 月 6 日(水)) における輸送動向

【速報値】

調査対象地域	輸送人員 (人)		前年比 (21/20)	通常運行時間 (通常運行ダイヤによる平均)	遅延による 最大運行時間
	2 1 年度	2 0 年度			
東北・関東 (6 事業者)	423,657	436,990	96.9%	334分 (5時間34分)	551分 (9時間11分)
北陸・中部・近畿 (4 事業者)	110,280	114,470	96.3%	436分 (7時間16分)	765分 (12時間45分)
四国・九州 (4 事業者)	320,586	358,121	89.5%	438分 (7時間18分)	733分 (12時間13分)
計・平均	854,523	909,581	93.9%	394分 (6時間34分)	668分 (11時間08分)

(社) 日本バス協会調べ